

エピソード

忙しいお母さん 話を聞いてほしい太郎君

子供と
向き合おう



康子さんは、フルタイムで働いています。会社員の夫の篤史さんは部署が変わったばかりで気苦労が多く、毎日疲れて帰ってきます。共働きの2人には、保育所に通っている3歳の太郎君がいます。

今日は、康子さんの帰宅が遅くなり、夕食作りに焦っています。そこへ太郎君が来て、後ろから康子さんの服を引っ張りながら、話しかけてきます。

ちょうどその時、スマートフォンに会社からの連絡が…。慌てて画面に目を落とすと、やり残した仕事の問い合わせでした。康子さんは、イライラのあまり、後ろにいる太郎君に振り向きもせず、「あとで」「あとで」と言いました。

① 焦っている時に、子供とどう向き合えばよいか困ったことはありませんか？

- ある ない
- ↓
それは、どんなことですか？
-
-
-
-
-

② この状況で、それぞれの立場になったとしたら、どんなふうに思いますか？

康子さん

篤史さん

太郎君

③ 忙しい場面でも子供と向き合うためにはどうしたらよいでしょう。

-
-
-
-
-
-



忙しいと、子供のことを後回しにしてしまうことがあります。
「さっきは、ごめんね。」と言って、子供と遊んでいるうちに、
子供の心は満たされます。